

森田 龍頼 氏 学位審査結果の要旨

主査：中邨 智之

副査：松田 博子、松田 公志

脂質異常症（高脂血症）は慢性腎臓病と心血管疾患双方の危険因子であることが知られており、高脂血症治療薬スタチンは慢性腎臓病においても広く用いられる。しかしスタチンは LDL コレステロール低下以外に多面的な作用があるとされており、LDL コレステロールの低下そのものが慢性腎臓病に有効であるのかどうかは不明である。本研究では、小腸コレステロールトランスポーター阻害薬エゼチミブが慢性腎臓病に有効であるかを 37 名の患者について調べた。24 週の投与でエゼチミブは LDL コレステロール低下、脈波伝播速度改善とともに、尿蛋白／クレアチニン比の有意な低下をもたらした。本研究は、LDL コレステロールの低下そのものが慢性腎臓病に有効であることを示唆すると共に、慢性腎臓病の治療戦略において新たな選択肢を示したものであり、学位に値する。